

(1) 読み聞かせ

読み聞かせを通して小・中学校の絆を深める

新宿区立新宿西戸山中学校 編



実践事例	
1	実践した教科・領域等 : 図書委員会 (本校1～2年の図書委員16名)
2	対象学年 : 近隣小学校児童
3	活用した書籍情報 : 大型絵本「はじめてのおつかい」筒井頼子福音館書店ほか4冊
4	読書活動の実践の概要 : 全1時間 ①本を読み聞かせる。 ②お話の内容によっては、子どもたちが動くようにする。 ③本を読み終えたあと、お話の内容からクイズを3～4問出す。 ④全作品終了後、聞いてくれた小学生全員へ、絵本に登場するキャラクターを手作りのプレゼントにして渡す。 ※掲載した写真は、7月下旬に西戸山小学校で実施したときのものです。
5	活動のポイント ① 最初は、専門家から読み聞かせの指導を受けることが望ましい。 ② 1冊の絵本を2～3人(ページめくりの生徒も含めて)で担当する。
6	留意点 ①出題するクイズは、絵本を読む生徒たち自身に考えさせる。 ②クイズの正解を言うときは、必ずそのページを開き、聞いている小学生たちに納得させる。 ③“読んであげる”“お勉強のつもりで読む”というのではなく、“一緒に楽しむ”という気持ちで読むようにとアドバイスする。
7	連携した諸機関 近隣小学校4校：新宿区立落合第二小学校、同戸塚第三小学校 同西戸山小学校、同淀橋第四小学校 ※今後、新宿区立西戸山幼稚園と同高田馬場福祉作業所でも実施する予定。

